



2026年6月22日

各位

会社名 株式会社 T O R I C O  
代表者名 代表取締役社長 安藤 拓郎  
(コード番号: 7138 東証グロース市場)  
問合せ先 専務取締役 鯉沼 充  
(TEL. 03-6261-4346)

## 【訂正】「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2026年5月14日に開示いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部修正すべき事項がありましたので下記の通りお知らせします。

### 記

#### 1. 訂正の理由

「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、セグメント情報の記載内容について再度検討を行った結果、報告セグメントの区分を見直すことといたしました。

これに伴い、従来単一セグメントとして開示していたものを、「マンガ事業」及び「暗号資産事業」の2つの報告セグメントに区分して開示することとしたため、関連する記載を訂正しております。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

#### 2. 訂正の内容

添付資料(2ページ)

##### 1. 経営成績等の概況

##### (1) 当期の経営成績の概況

#### 【訂正前】

(中略)

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載しておりません。

#### 【訂正後】

(中略)

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

##### ① マンガ事業

売上高は3,185,898千円、営業損失は65,406千円となりました。

##### ② 暗号資産事業

売上高は1,623千円、営業損失は2,381千円となりました。

注. 当社グループは、従来、単一セグメントでありましたが、当連結会計年度より暗号資産事業を開始し、同事業の資産金額の重要性が増したため、当連結会計年度から「マンガ事業」及び「暗号資産事業」の各セグメント別に区分して業績を記載しております。なお、前連結会計年度については単一セグメントであったため、セグメント別の前期比較は行っておりません。

添付資料（11 ページ）

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)

#### 【訂正前】

前連結会計年度(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

当社グループは、マンガ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日)

当社グループは、マンガ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

#### 【訂正後】

#### 1. 報告セグメントの概要

##### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは 2025 年 12 月に暗号資産事業の新設に伴い、「暗号資産事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

##### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「マンガ事業」においては、コミック全巻セットに特化したネット書店「漫画全巻ドットコム」を中心のサービスとした EC サービス、並びにリアルスペース及び EC サイトでのマンガイベントサービスの 2 つを並行して展開することで、サービス間の垣根を越えたシナジーを生み出しており当社グループの強みとなっております。

「暗号資産事業」においては、暗号資産（仮想通貨）、ブロックチェーン技術及び金融リテラシーに関する調査、研究及びコンサルティング、市場調査、宣伝及び広告に関する業務を行っております。

#### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

#### 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024 年 4 月 1 日 至 2025 年 3 月 31 日)

当社グループは、マンガ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	マンガ事業	暗号資産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,185,898	1,623	3,187,521	—	3,187,521
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,185,898	1,623	3,187,521	—	3,187,521
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△65,406	△2,381	△67,788	—	△67,788
セグメント資産	1,413,779	826,198	2,239,977	—	2,239,977
セグメント負債	605,010	—	605,010	—	605,010
その他の項目					
減価償却費	221	—	221	—	221
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	10,589	—	10,589	—	10,589

#### 【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

##### 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、マンガ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

##### 2. 地域ごとの情報

###### (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

###### (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### 3. 主要な顧客ごとの情報

主な相手先別の売上高は次のとおりです。なお、楽天グループ株式会社、アマゾンジャパン合同会社、LINE ヤフー株式会社に対する販売実績は、当社が同社等の運営するショッピングモールを介して、当社運営店舗が一般消費者へ販売した商品売上の総額であります。

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)
楽天グループ株式会社	837,750
アマゾンジャパン合同会社	667,237
LINE ヤフー株式会社	422,808

当社はマンガ事業の単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主な相手先別の売上高は次のとおりです。なお、楽天グループ株式会社、アマゾンジャパン合同会社に対する販売実績は、当社が同社等の運営するショッピングモールを介して、当社運営店舗が一般消費者へ販売した商品売上の総額であります。

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
楽天グループ株式会社	808,012	マンガ事業
アマゾンジャパン合同会社	341,463	マンガ事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、マンガ関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	マンガ事業	暗号資産事業	計			
減損損失	10,367	—	10,367	—	—	10,367

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

以 上